

陸上養殖業の届出件数について（令和7年1月1日時点）

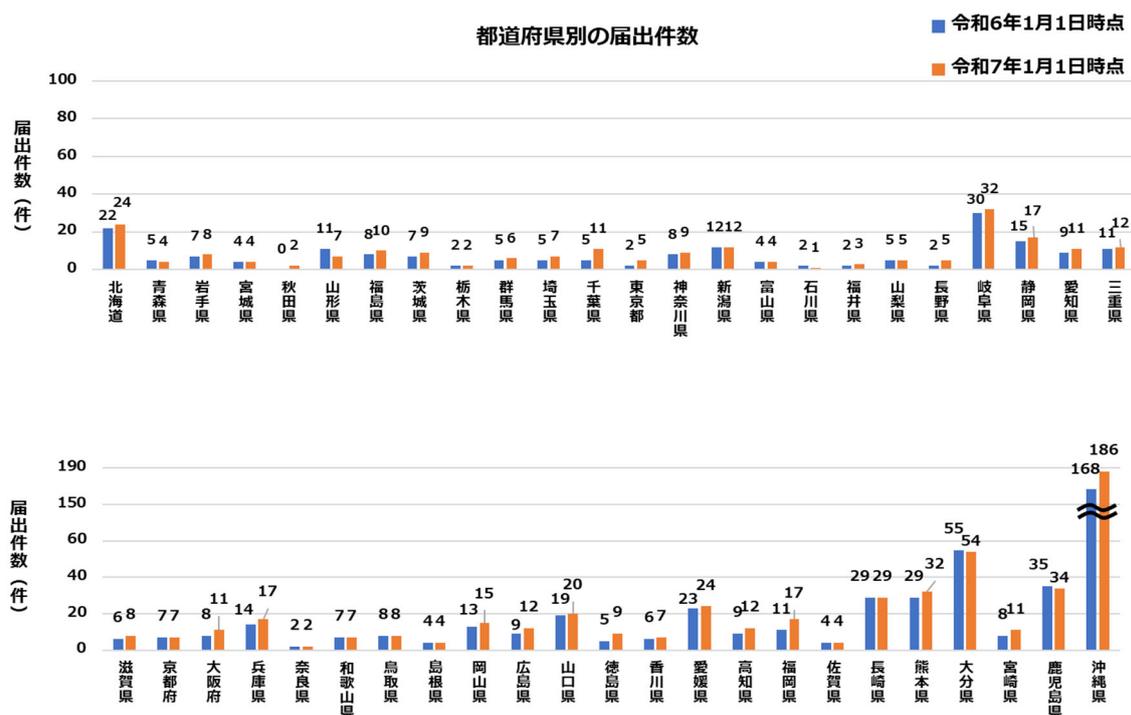
1. 届出件数

令和7年1月1日現在、水産庁で確認している陸上養殖業の届出件数は **740件**（前年 662件）となり、前年から78件増加しました。（新規107件、廃止29件）

（古くから河川、川沿い等で営まれている陸上養殖、及び養殖を営むにあたり大臣の許可が必要とされるうなぎ養殖を除く。）

2. 都道府県別の傾向

都道府県別の届出件数は、沖縄県186件、大分県54件、鹿児島県34件の順に多く、九州地方に多い傾向がみられました。

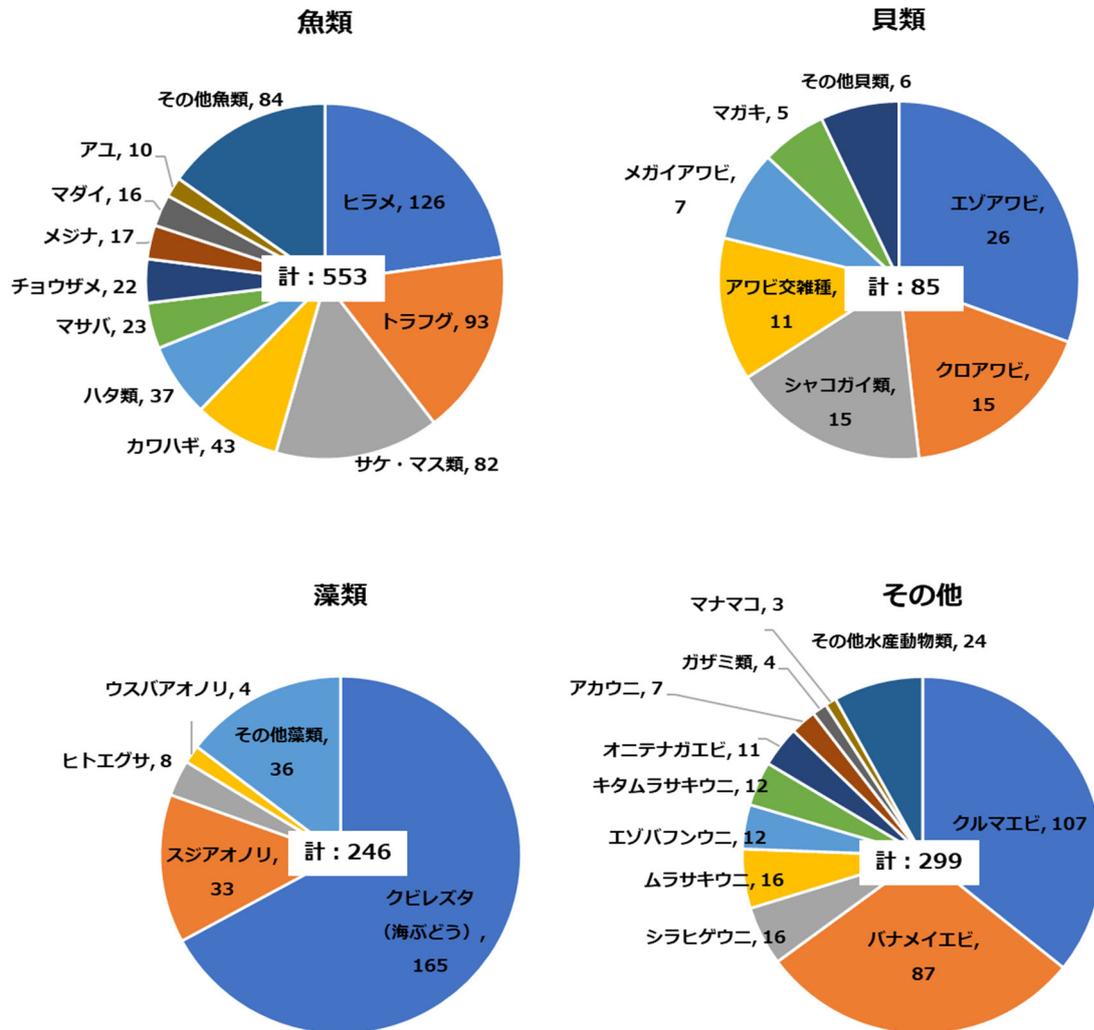


前年と比べて届出件数が増加した都道府県は30都道府県、減少したのは5県、増減がなかったのは12府県となっており、過半数の都道府県で陸上養殖の新規参入がありました。増加件数は沖縄県（前年比18件増）、千葉県（同6件増）、福岡県（同6件増）の順に多い結果となりました。

3. 養殖種類別の届出件数

養殖種類別の届出件数（延べ件数）は、クビレズタ（海ぶどう）165件、ヒラメ126件、クルマエビ107件、トラフグ93件の順に多く、魚類、貝類、藻類、その他の養殖種類の内訳は以下のとおりでした。

魚類、貝類、藻類、その他での養殖種類別届出件数内訳

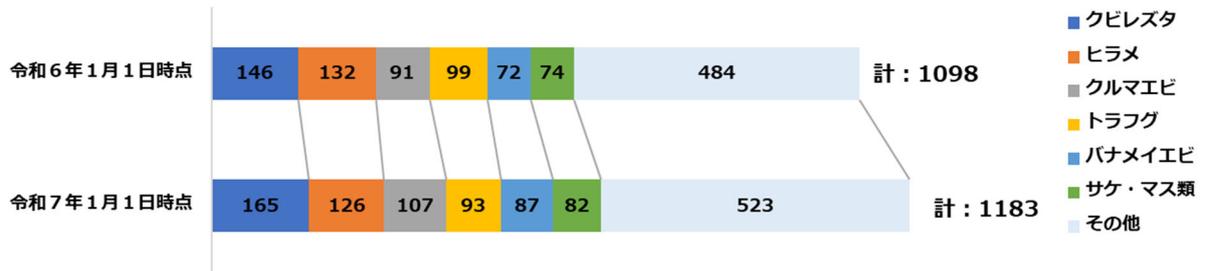


養殖種類別の届出件数（延べ件数）の合計は1,183件（前年1,098件）となり、前年から85件増加しました。種類別に見ると、クビレズタ（前年比19件増）、クルマエビ（同16件増）、バナメイエビ（同15件増）、サケ・マス類（同8件増）などで件数が増加しました。

クビレズタは、前年に届出があった沖縄県（前年比9件増）や鹿児島県（同1件増）等で件数の増加が確認されたほか、岩手県、埼玉県、千葉県、東京都といった前年に届出がなかった6都県から新規での届出がありました。クルマエビやバナメイエビ、サケ・マス類についても、既に届出があった道府県での件数増加のほか、複数の県から新規の届出がありました。

このように、特定の養殖種については、これまで養殖が行われていなかった都道府県において新規参入が見られるようになってきています。

養殖種類別の届出件数（延べ件数）の推移



注：この情報は、内水面漁業の振興に関する法律（平成26年法律第103号）第28条第1項に基づき届出されたものを水産庁で集計したものです。